(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 20日

石川県知事 馳 浩 殿

提出者

住 所 金沢市米泉町7丁目76番地 氏 名 北陸道路施設株式会社 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 代表取締役社長 南部 敬祐

電話番号 076-247-3454

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	北陸道路施設株式会社
事	業場の所在地	金沢市米泉町7丁目76番地
計	画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	07:職別工事業(設備工事業を除く)
	②事業の規模	令和5年度請負完成工事高:249,76万円
	③ 従 業 員 数	7人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して分別後、再資源化 ・木くず→再生処理業者に委託して木材チップとして再資源化 ・金属くず→分別して再資源化 ・ガラス、陶磁器くず→処分委託→埋立場 ・がれき類分別して再資源化。 ・コンクリートがら→再生利用業者に委託して再生砕石として再資源化 ・アスファルトがら→再生処理業者に委託して再生材として再資源化

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 代表取締役社長 取締役営業部長(廃棄物処理統括責任者) 工事部課長(廃棄物管理担当責任者) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和5年度 ) 実績】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック 木くず 量 排 出 8 t 7 t (これまでに実施した取組) ① 現状 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 木くず 出 排 量 5 t 6 t (今後実施する予定の取組) ②計画 廃プラスチック類については、分別しリサイクルできるものは再利用する。 木くずは、木材チップとして再資源化する。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物とも分別して保管し廃棄物どうしが混ざらない様にする。 ①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ②計画 各廃棄物とも一定の量に達したら処分場に搬出する。

業廃棄物の処理に	系る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役社長 ↓ 取締役営業部	長(廃棄物処理統括責任者)			
工事部課長(廃棄物管理担当責任者)				
 業廃棄物の排出の 		) 安海】		
	【前年度(令和5年度)	,	1. 2 12	
		廃プラスチック類	木くず	
② 現状	排 出 量 (これまでに実施した) 特になし。	8 t 取組)		7.
② 現状	(これまでに実施した)特になし。			7 -
② 現状	(これまでに実施した: 特になし。 【目標】	取組)	+/-	7
② 現状	(これまでに実施した:特になし。 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類	取組) アプラスチック類	木くず	
② 現状	(これまでに実施した: 特になし。 【目標】	取組) 廃プラスチック類 5 t	木くず	
② 現状 ②計画	(これまでに実施した 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の)	取組) 廃プラスチック類 5 t 取組) よ、分別しリサイクルできるも		6
	(これまでに実施した: 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の: 廃プラスチック類についてに 木くずは、木材チップ	取組) 廃プラスチック類 5 t 取組) よ、分別しリサイクルできるも		6 t
②計画	(これまでに実施した:特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の: 廃プラスチック類については、 木くずは、木材チップ	取組) 廃プラスチック類 5 t 取組) よ、分別しリサイクルできるも	ものは再利用する 関する取組)	6 ·

自ら行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項			
	【前年度( 令和5年月	度 )実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
₩ 964K	(これまでに実施した 特になし。	た取組)		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
<b>ОПШ</b>	(今後実施する予定の特になし。	の取組)		
   自ら行う産業廃棄物の	 )中間処理に関する事項			
	【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した 特になし。	た取組)		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の特になし。	の取組)		

	- エーペーク ヘ141年171人へだり	に関する事項		
	【前年度( 令和5年月	度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は			
	海洋投入処分を行った	0 t		
① 現状	産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した			
	これまで実施していた。			
		<b>5</b> • 0		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は			
	海洋投入処分を行う	0 t		
②計画	産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の	<u>,</u> の取組)		
	今後も実施の予定はた			
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<b>5.</b> * <b>6</b>		
 業廃棄物の処理の委	 :託に関する事項			
	【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	
	全処理委託量	8 t		
	優良認定処理業者への			
	処理委託量	t		
	再生利用業者への	t		
	処 理 委 託 量			
(T) #H/I/	認定熱回収業者への	_		
① 現状	処理委託量	t		
	お今新口中米本いりゃ			
	1 高速数則以業有以外())			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t t		
	熱回収を行う業者への	t		
	熱回収を行う業者への 処理委託量			
	熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した			
	熱回収を行う業者への 処理委託量			
	熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
		全処理委託量	5 t	6 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の特になし。	)取組)	
※事	事務処理欄			

# 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 代表取締役社長 取締役営業部長(廃棄物処理統括責任者) 工事部課長(廃棄物管理担当責任者) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和5年度 ) 実績】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス、陶磁器くず 排 出 量 4 t 1 t (これまでに実施した取組) ③ 現状 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 ガラス、陶磁器くず 金属くず 排 出 量 4 t 1 t (今後実施する予定の取組) ②計画 金属くずは、分別して再資源化。 ガラス、陶磁器くずは、処分委託行い埋立場へ搬出。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物とも分別して保管し廃棄物どうしが混ざらない様にする。 ①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物とも一定の量に達したら処分場に搬出する。 ②計画

自ら行う産業廃棄物の	の再生利用に関する事項		
	【前年度( 令和5年月	度 ) 実績】	
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
② 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した特になし。	た取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		ガラス、陶器くず
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の特になし。	の取組)	
 自ら行う産業廃棄物の	 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_	
	【前年度( 令和5年月	<b>変 )実績】</b> ⊤──────	1
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
② 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施し) 特になし。	た取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の特になし。	の取組)	

自身	ら行う産業廃棄物の埋立	2処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度( 令和5年度	ま)実績】	
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
	② 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した 特になし。	上取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の 特になし。	)取組)	
産業	<b>業廃棄物の処理の委託に</b>	・関する重迫 ニュー		
,,				
,,	大元来(MV) 人巴王V) 女 旧记	【前年度( 令和5年度	度 )実績】	
,	RD来MVップCPエVクダ IIIC		変 ) 実績】 金属くず	ガラス、陶器くず
	ドル来(の・) 人とう王・ノ 女 旧山 C	【前年度( 令和5年度		ガラス、陶器くず 1 t
	RDATION COLVO Q ILIC	【前年度 ( 令和5年度 産業廃棄物の種類	金属くず	
	RIDER (MOVIE) COLLARY OF THE COLLARY	【前年度 ( 令和5年度 産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者への	金属くず 4 t	1 t
	② 現状	【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	金属くず 4 t	1 t
		【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	金属くず 4 t t	1 t
		【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	金属くず	t t
		【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託配型 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者、の 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	金属くず	t t
		【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託配型 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者、の 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	金属くず	t t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス、陶器くず
		全処理委託量	4 t	1 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の特になし。	)取組)	
<b>※</b> 事	事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 代表取締役社長 取締役営業部長(廃棄物処理統括責任者) 工事部課長(廃棄物管理担当責任者) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和5年度 ) 実績】 産業廃棄物の種類 コンクリートがら がれき類 排 出 量 4 t 4329 t (これまでに実施した取組) 4) 現状 特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類 がれき類 コンクリートガラ 排 量 出 4 t 2000 t (今後実施する予定の取組) ②計画 がれき類は分別して再資源化し資源できないものは、埋立処分。 コンクリートがらは、再生砕石として再資源化。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物とも分別して保管し廃棄物どうしが混ざらない様にする。 ①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ②計画 各廃棄物とも一定の量に達したら再生処理業者へ搬出する。

③ 現状	【前年度(令和5年度 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した 特になし。	度 )実績】 がれき類 0 t	コンクリートがら 0 t
③ 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した		
③ 現状	産業廃棄物の量 (これまでに実施した	0 t	0 t.
		を取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の特になし。	の取組)	
行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項		
	【前年度( 令和5年月	度 ) 実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
③ 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した特になし。	ご取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の特になし。	の取組)	
	③ 現状	②計画  産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の特になし。  行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度 ( 令和5年度 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した特になし。  【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら神間処理により減量する 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の	企業廃棄物の種類       がれき類         自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量       0 t         (今後実施する予定の取組)       特になし。         (今後実施する予定の取組)       事項         (方う産業廃棄物の中間処理に関する事項       がれき類         自ら熟回収を行った 産業廃棄物の量       0 t         自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量       t         (これまでに実施した取組)       特になし。         (これまでに実施した取組)       特になし。         (これまでに実施した取組)       りになし。         (これまでに実施した取組)       のまのを行う 産業廃棄物の量       0 t         自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量       0 t         自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量       t         (今後実施する予定の取組)       t

- '	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
		【前年度( 令和5年月	度 ) 実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら	
	③ 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
		(これまでに実施した特になし。	こ取組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
		(今後実施する予定の特になし。	)取組)		
産業	<b>業廃棄物の処理の委託</b> に	関する事項			
		【前年度( 令和5年月	度 )実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら	
		全処理委託量	4 t	4329 t	
		全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量	4 t		
		優良認定処理業者への		4329 t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	t	4329 t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	t	4329 t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t t	t t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した	t t	t t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した	t t	t t	
	③ 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した	t t	t t	

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
		全処理委託量	4 t	2000 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の特になし。	)取組)	
<b>※</b> 事	事務処理欄			

産業		理体制に関す	る事項		
	(管理体制図)				
	代表取締役社長				
	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓				
		K 1/3/C+11/01/11/9	K   L   1 /		
	工事部課長(廃棄物	物管理担当責任	壬者)		
産業	<b>業廃棄物の排出の抑制に</b>	関する事項			
		【前年度(名	冷和5年度	〕実績】	
		産業廃棄物	の種類	アスファルトがら	
		排 出	量	1859 t	t
	⑤ 現状	(これまで)	こ実施した	た取組)	
		特になし。			
		【目標】			
		産業廃棄物	の種類	アスファルトがら	
		排出	量	1500 t	t
	②計画	(今後実施)	する予定の	の取組)	
		アスファル	トがらは、	再生材として再資源化。	
産業	・ 業廃棄物の分別に関する	 事項			
		(分別して)	へる産業!	<del>室童</del> 物の種類及び分別に関	
	OTH/IL	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物とも分別して保管し廃棄物どうしが混ざらない様する。			
	①現 <b>状</b>	台焼来物と	0 71 11.1 0	(休官 し発来物と ) しかん	とこうなくがりる。
	<b>①</b> 現状	分廃来物と、	0777710	(休官 し焼果物とりしかん	12 C O な V 7 3 k y る。
	① <b></b> 現状				
	②計画	(今後分別)	する予定の	で保管で廃棄物とりでがる の産業廃棄物の種類及び分量に達したら再生処理業者	分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
	④ 現状	【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】				
		産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		自ら再生利用を行った	t	t		
		産業廃棄物の量	· ·	· ·		
		(これまでに実施した取組)				
		特になし。				
		 【目標】				
	②計画		777-1138			
		産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う	アスファルトがら			
		産業廃棄物の量	t	t		
		(今後実施する予定の		1		
		特になし。				
自身	ら行う産業廃棄物の中間 「	]処理に関する事項				
		【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】				
	④ 現状	産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		自ら熱回収を行った	t	t		
		産業廃棄物の量目6中間処理により減量した				
		産業廃棄物の量	t	t		
		(これまでに実施し7				
		特になし。				
ŀ	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		自ら熱回収を行う	t	t		
		産業廃棄物の量	· ·	· ·		
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t		
			7. 版 41 )	_ <b> </b>		
		(今後実施する予定の取組) 特になし。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】						
	④ 現状	産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t		
		(これまでに実施した取組) 特になし。				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t		
		(今後実施する予定の取組) 特になし。				
産業	」 業廃棄物の処理の委託に	 関する事項				
	【前年度 ( 令和5年度 ) 実績】					
	④ 現状	産業廃棄物の種類	アスファルトがら			
		全処理委託量	1859 t	t		
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t		
		再生利用業者への 処理委託量	t	t		
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t		
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t		
		(これまでに実施した 特になし。	上取組)			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスファルトがら	
		全処理委託量	1500 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし。		
※事務処理欄				

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。